

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成20年8月21日(2008.8.21)

【公開番号】特開2007-300927(P2007-300927A)

【公開日】平成19年11月22日(2007.11.22)

【年通号数】公開・登録公報2007-045

【出願番号】特願2007-134209(P2007-134209)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 16/46 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 16/46

A 6 1 K 39/395 T

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 0 5

C 1 2 P 21/08

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月7日(2008.7.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配列番号 1 3 2 に記載されるアミノ酸配列を含む C D R 1 , 配列番号 1 3 3 に記載されるアミノ酸配列を含む C D R 2 , および配列番号 1 3 4 に記載されるアミノ酸配列を含む C D R 3 を有する重鎖可変領域を含む抗体。

【請求項 2】

配列番号 1 6 7 に記載されるアミノ酸配列を含む C D R 1 , 配列番号 1 6 8 に記載されるアミノ酸配列を含む C D R 2 , および配列番号 1 6 9 に記載されるアミノ酸配列を含む C D R 3 を有する軽鎖可変領域を含む抗体。

【請求項 3】

それぞれ配列番号 1 3 2 , 1 3 3 および 1 3 4 に記載されるアミノ酸配列を含む C D R 1 , 2 および 3 を有する重鎖可変領域, およびそれぞれ配列番号 1 6 7 , 1 6 8 および 1 6 9 に記載されるアミノ酸配列を含む C D R 1 , 2 および 3 を有する軽鎖可変領域を含む抗体。

【請求項 4】

配列番号 6 0 に記載のアミノ酸配列を含む重鎖可変領域および 配列番号 7 1 に記載のアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域を含む抗体。

【請求項 5】

ヒト抗体である、請求項 1 - 3 のいずれかに記載の抗体。

【請求項 6】

キメラ抗体である、請求項 4 に記載の抗体。

【請求項 7】

グリピカン 3 に結合し、グリピカン 3 を発現する細胞に対して高い C D C 活性を有する抗体。

【請求項 8】

グリピカン 3 に結合し、グリピカン 3 を発現する細胞に対して高い A D C C 活性を有する抗体。

【請求項 9】

請求項 1－8 のいずれかに記載の抗体の重鎖可変領域または軽鎖可変領域をコードするポリヌクレオチド。

【請求項 10】

配列番号 55 または 65 に記載の塩基配列を有する、請求項 9 記載のポリヌクレオチド。

【請求項 11】

請求項 9 または 10 に記載のポリヌクレオチドを含むベクター。

【請求項 12】

請求項 11 に記載のベクターが導入された細胞。

【請求項 13】

請求項 12 に記載の細胞を培養し、抗体を単離、精製することによる抗体の製造方法。

【請求項 14】

請求項 1－8 のいずれかに記載の抗体を有効成分とする細胞増殖抑制剤。

【請求項 15】

請求項 1－8 のいずれかに記載の抗体を有効成分とする抗癌剤。

【請求項 16】

肝細胞癌を治療するための請求項 15 記載の抗癌剤。